

平成22年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 コース等名 臨床心理士養成コース

氏 名 中 津 郁 子

プロジェクトの名称	鳴門市の幼稚園と連携し子どもの「育つ力」を応援する子育て支援プログラムについての研究	配分 予算 額	800,000 円
プロジェクトの概要	本研究では、鳴門市の2ヶ所の幼稚園と連携し、臨床心理士養成コースの大学院生が子どものプレイセラピーを実施することで、子どもの「育つ力」や、幼稚園の教育力、親の育児力を高め、子育て支援の一助となるための方法についての研究を行った。 (1) 研究1：幼稚園でのプレイセラピーによる子どもの「育つ力」の検討 [対象] プレイセラピーの対象となった子ども9名 [方法] 幼稚園の空き教室を利用し、プレイセラピーが実施できるように遊具等を設置した。幼稚園の教員が気にかかる子どもで、保護者の承諾が得られた子ども9名に対して、週に1回50分のプレイセラピーを約20回前後実施した。プレイセラピーを行うセラピストは保育実習等で幼児との情動調律や感受性訓練等を受けた臨床心理士養成コース大学院2年生が担当した。実習中は毎回の逐語録を基にスーパーバイズを受けた。その逐語録により子どもの「育つ力」がどのように向上したかを検討した。また、プレイセラピー実施の前後に、子どもの行動や性格等に関する質問紙調査を幼稚園での担任に回答を依頼し、どのような効果が見られるかを検討した。 (2) 研究2：幼稚園での臨床実践による大学院生への効果の検討 [対象] 幼稚園でのプレイセラピーを担当する大学院生8名 [方法] 幼稚園でのプレイセラピーを担当し、毎回の逐語録を基にスーパーバイズを受けたり、幼稚園の教員との検討会に参加したり等を通して、プレイセラピーの力量や地域臨床への理解がどのように向上したかについて検討した。 (3) 研究3：子育て支援プログラムの検討 [対象] 幼稚園の教員及び保護者 [方法] 子どもにプレイセラピーを行うと共に、幼稚園の教員に対して、気になっている子どもの行動や心の状態についてのコンサルテーションを行った。そして、プレイセラピー実施後に子どもがどのように変化した、幼稚園の教育力がどのように変化したかについて話し合いを行った。また、プレイセラピーの対象になった子どもの保護者に対しても2回～数回面接を行い、その育児力の変化等、その効果について検討を行った。これらが、子育て支援の新たな方法としてどのような効果があるか、プログラムの検討を行った。		
成果の概要	研究1から3についての成果の概略を述べる。 (1) 研究1：幼稚園でのプレイセラピーによる子どもの「育つ力」の検討 「TS式幼児・児童性格診断検査」及び「子どもの長所・短所についての質問紙」をセラピーの前後に幼稚園教員に依頼して実施した。「TS式幼児・児童性格診断検査」に関しては、有意な差は見られなかった。「子どもの長所・短所についての質問紙」の5つのスケールについては、T検定の結果『交友問題スケール』と『社会的問題スケール』に有意差が見られた。また、プレイセラピーの逐語録からも、子どもたちの活動性が増し、言語活動が発達している様子がよく見られていた。 (2) 研究2：幼稚園での臨床実践による大学院生への効果の検討 プレイセラピー担当の大学院生は、逐語録を書き指導教員からのスーパーバイズを受けたり、幼稚園での教員や保護者との話し合いに参加したりした。その中で、子どもと関わる力が増し、プレイセラピーの力量や地域臨床の力が伸びていることが感じられた。 (3) 研究3：子育て支援プログラムの検討 プレイセラピーの開始時と終結時に保護者や幼稚園の教員との話し合いを行った。保護者9名中7名は、プレイセラピーにより子どもが成長したと捉えていた。また、幼稚園の教員は、子ども9名中8名の問題行動が減少し、その子なりの発達が促されたと評価していた。幼稚園の教員へのコンサルテーションでは、保護者への対応の仕方や子ども理解、対応方法について話し合った。保護者へは家庭での親の関わり方などについて話し合った。プレイセラピー後の話し合いでは、親子の関係性が変化した様子が語られた人もいた。プレイセラピー実施が幼稚園にとっても保護者にとっても効果があったことが伺われた。子育て支援プログラムとして有効であると考えられる。 (4) まとめと今後の課題 幼稚園で空き教室を利用したプレイセラピーは子どもたちの「育つ力」を引き出す一助になっていることが研究の結果わかった。子どもが「育つ力」を発揮することで親との関係も変化していた。また、幼稚園教員へのコンサルテーションや保護者との話し合いにより、子ども理解や保護者に対する理解につながり、子育て支援として有効であることが考えられた。しかし、幼稚園と保護者・セラピストの3者の関係性がうまく機能しないと、子どもの「育つ力」が充分活性化されないことも見られ、関係性の調整が今後の課題である。		

区 分	品 名 等	規 格 等	数 量	単 価	金 額	備 考
備 品 費						
小 計						
消 耗 品 費	トミカトーマス プラレールトーマス プラレール 人形 レゴ トミカ ぽぽちゃん人形 関連等 ままごと道具 関連等 ユニットフロア ーマット 座卓 ドライブカーセ ット等 ボール・ブロック 等の遊具 積木 積木コンテナ 両開き書庫と台 整理用具 デジカメとケー ス ICレコーダー他 文房具 書籍	ゴセイジャー 消防車等 ちいぽぽちゃん 洋服 ベビーカー コンテナ カゴ スーパーカゴ 台車 リスボックス	18 16 2 5 2 6 1 2 2 9 1 1 6 11 1 1 2 2 1 1 10 1 25 6	735 2,520 2,100 840 16,700 378 7,800 3,900 3,550 9,764 4,900 1,890	13,230 40,320 4,200 4,200 33,400 2,268 7,800 7,800 7,100 158,849 38,400 38,955 13,335 95,772 24,200 16,600 48,300 19,528 9,800 15,000 17,900 53,550 43,200 12,140 62,813 11,340	
小 計					800,000	
そ の 他						
小 計						
合 計					800,000	